

令和2年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

菰野町地域公共交通会議

平成20年4月23日設置

フィーダー系統 平成28年6月29日 確保維持計画策定等

1.直近の第三者評価の活用・対応状況

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
増便やダイヤ改正など利用者のニーズに合わせた見直しを行い、多くの系統で利用者が増加したことを評価します。	オンデマンド交通（菰野町のりあいタクシー）を町内全域で運行開始した。また、コミュニティバスの利用状況や運行間隔を踏まえ、増便や運行時刻の変更、停留所の新設や名称変更を行った。	オンデマンド交通の町内全域での運行開始とそれに伴うコミュニティバスの幹線系統への集約など、更なる改善を図る。
今後は地域に最適で持続可能な公共交通ネットワークを構築するため、引き続き「地域公共交通計画（旧地域公共交通網形成計画）」の策定に向けた取組が進められることを期待します。	「地域公共交通計画」の策定にむけ、地域ごとの公共交通の利用状況や今後の公共交通の在り方について、直接住民と意見交換を行う地域懇談会を開催した。	「地域公共交通網形成計画」策定を目指す。

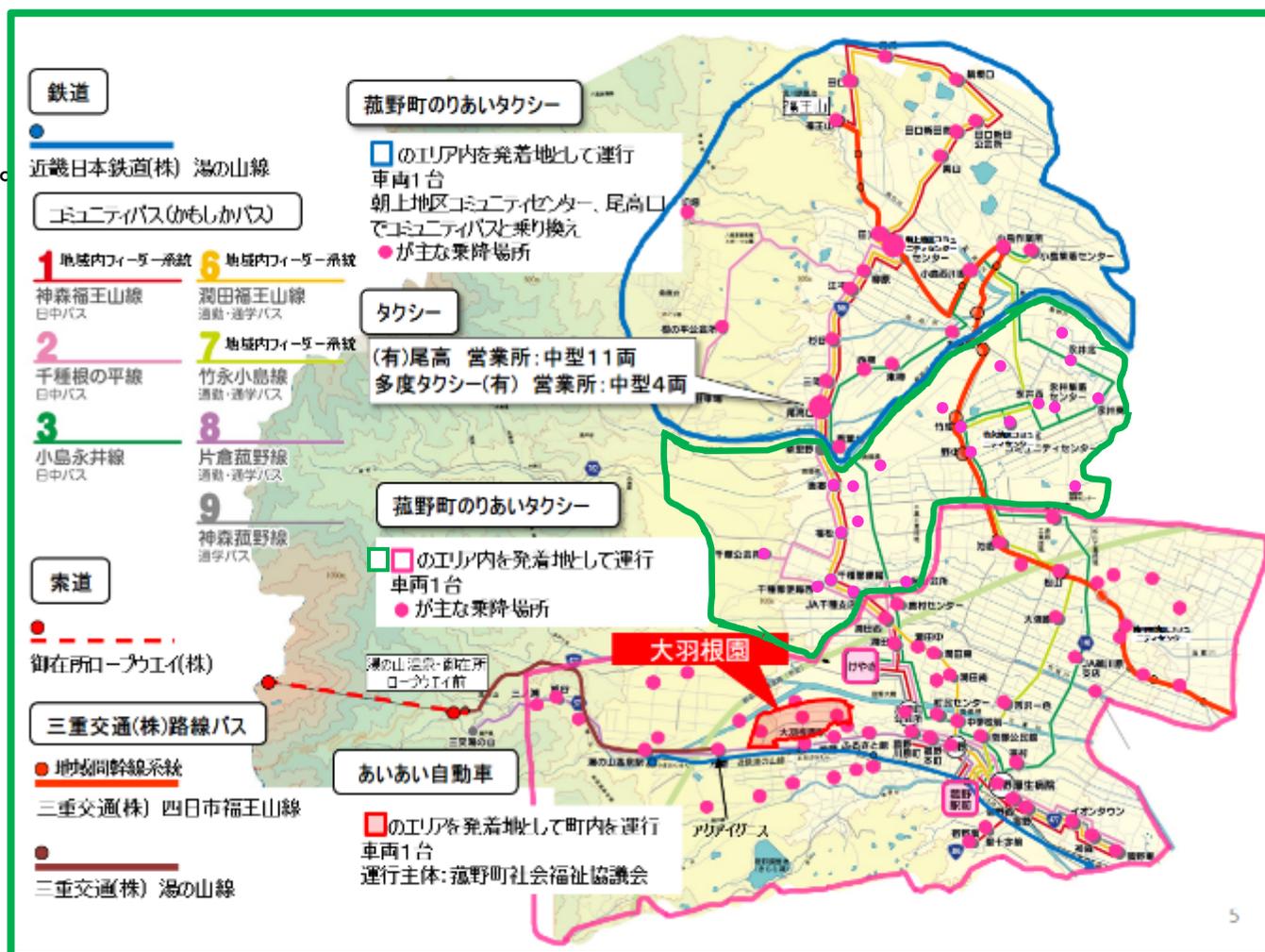
2.協議会が目指す地域公共交通の姿 (Plan)

■菰野町は、鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー、オンデマンド交通である「菰野町のりあいタクシー」、大羽根園で運行中の公共交通空白地有償運送「あいあい自動車」などの公共交通が運行しており、高齢者等の移動制約者の買物、通院等のための利用、通勤・通学のための利用に加え、来訪者の移動手段といった目的でそれぞれ利用されている。

■人口の約4割が居住する町南部は鉄道駅などが住居に近接しているため、公共交通に対する満足度は高い。6割の町民が居住する町北部は、公共交通の充実を求める声が高い。

■鉄道駅、基幹病院、保健福祉センター等が町南部に存在するため、町北部から町南部への移動手段の充実が課題となっている。

■朝夕は通勤・通学輸送が主体となり、日中は高齢者の利用が多数を占める。



2.目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容 (Do)

■ オンデマンド交通（菰野町のりあいタクシー）の運行

平成30年運行開始、令和2年から町内全域が運行エリアとなる。町内に設置された乗降場所相互間を結ぶ。コミュニティバスと乗り継ぎを考慮し、自宅付近から町内外へスムーズに移動可能。運行効率の向上を目的にAIを使用した配車システムを導入。



■ コミュニティバスの運行見直し

バスの利用状況や運行間隔を踏まえ、増便や運行時刻の変更、停留所の新設や名称変更を実施。



■ 地域説明会の実施（随時）

地域住民の声を直接聞くとともに、地域ごとの公共交通の利用状況や今後の公共交通の在り方について意見交換を行う。また、のりあいタクシーなど公共交通の利用方法について、説明会を実施した。



■ 菰野町MaaS「おでかけこもの」の導入

町民の生活利便性および来訪者の移動利便性向上を目的とした、町内地域公共交通サービスの検索、のりあいタクシーのWeb予約の開始とAIを使用した配車効率の向上を図った。



3.計画の達成状況の評価指標とその結果 (Check)

◆ コミュニティバス、のりあいタクシー利用実績

路線名	A コミュニティ バス利用者 (人)	B のりあいタクシー 利用者 (人)	A+B (人)
平成30年度 (H29.10~H30.9)	57,150	-	57,150
令和元年度 (H30.10~R1.9)	54,490	2,951	57,441
令和2年度 (R1.10~R2.9)	42,910	3,568	46,478

◆ 地域内フィーダー系統 (目標値：年間利用者数)

路線名	目標 (人)	実績 (人)	増減値	対目標値	達成状況
(1)神森福王山線	1,500	1,677	177	111.8%	達成
(2)潤田福王山線	1,800	1,537	△263	85.3%	未達成
(3)潤田福王山線	1,500	1,310	△190	87.3%	未達成
(4)竹永小島線	1,500	1,120	△380	74.6%	未達成
(5)神森福王山線	5,800	6,377	577	109.9%	達成

※ (2)と(3)、(1)と(5)は同じ路線だが、起点が異なるため、フィーダー系統では別路線とみなしている。

4.自己評価から得られた課題と対応方針 (Act)

	課題	対応方針
コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> ①目標値の達成に向けた取り組み ②他の公共交通との乗り継ぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ①オンデマンド交通との役割分担を明確にし、運行路線の見直しを図る。 ②鉄道などのダイヤ変更に合わせて運行時刻の見直しを図る。
オンデマンド交通 (のりあい タクシー)	<ul style="list-style-type: none"> ①町内全域での運行 ②予約方法の簡素化 ③運行の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ①令和2年10月から町内全域で運行を始めるとともに、エリアを跨いだ運行も開始。 ②菰野町MaaS「おでかけこもの」を導入し、更なる利便性の向上と町民への周知を図る。 ③AI運行による更なる効率化を図る。
あいあい自動車	<ul style="list-style-type: none"> ①在り方について 	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者、ドライバー双方から改善策を導く。
路線バス (地域間幹線系統)	<ul style="list-style-type: none"> ①他の公共交通との乗り継ぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ①コミュニティバス、のりあいタクシーとの接続や利用方法の改善を図る。
公共交通全般	<ul style="list-style-type: none"> ①計画の策定 ②公共交通相互の乗り継ぎ ③交通結節点となる拠点整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①菰野町地域公共交通計画の策定を目指す。 ②菰野町MaaS「おでかけこもの」の更なる利便性の向上と町民への周知を図る。 ③コミュニティバスとのりあいタクシーの乗り継ぎ拠点の整備について検討を進める。

令和2年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

菰野町地域公共交通会議

平成20年4月23日設置

フィーダー系統 平成28年6月29日 確保維持計画策定等

2.アピールポイント

■ オンデマンド交通（菰野町のりあいタクシー）の運行

平成30年運行開始、令和2年から町内全域で運行をエリア拡大を行うとともに、乗降場所を増設しました。

2年度には町内全ての地域で運行を開始する予定です。

運行エリア内の乗降場所相互間を結んでいます。

コミュニティバスと乗り継ぎを考慮し、自宅付近から町内外へスムーズに移動が可能となります。



■ コミュニティバスの運行見直し

バスの利用状況や運行間隔を踏まえ、増便や運行時刻の変更、停留所の新設や名称変更を行いました。



■ 菰野町M a a S「おでかけこもの」の導入

町内地域公共交通サービスの検索、のりあいタクシーのWeb予約開始とA Iを使用した配車効率の向上を図ります。菰野町地域公共交通会議が主体となって、町民だけでなく町外からの来訪者も、菰野町内の移動がスムーズになるように、取り組んでいます。

